

教科	学校設定科目	科目	国語C	単位数	2	学年・コース	3年 総合/選択者
テキスト	『テスト式国語常識の総演習』京都書房 他			担当者	庄司 剛		
概要・ねらい		社会人として最低限の知識を視野に入れ、国語に関わる様々な分野の基礎的な知識を身に付ける。また、書く、聞く、話す、という作業を通して言語能力を磨き、表現豊かな人間を目指す。					
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容		評価基準		
	一学期	8	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集 第1回～第2回 A 漢字を読む力 B 漢字を書く力 C ことばの力 D 文章表現・韻文・文学史・文法の力 ・小論文の基礎知識 		<ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業程度の漢字を理解できているか。 ・慣用表現、部首、対義語等を理解できているか。 ・近代俳句、短歌、文学の冒頭文を理解できているか。 ・小論文の書き方等を理解できているか。 (1学期中間考査)		
		12	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集 第3回～第5回 A 漢字を読む力 B 漢字を書く力 C ことばの力 D 文章表現・韻文・文学史・文法の力 ・面接に向けての基礎知識 		<ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業程度の漢字を理解できているか。 ・強調表現、外来語、四字熟語等を理解できているか。 ・近代俳句、短歌、文学の冒頭文を理解できているか。 ・面接に対するマナー等を理解できているか。 (1学期期末考査)		
	二学期	12	<ul style="list-style-type: none"> ・問題集 第6回～第8回 A 漢字を読む力 B 漢字を書く力 C ことばの力 D 文章表現・韻文・文学史・文法の力 ・手紙の書き方 ・問題集 第9回～第11回 		<ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業程度の漢字を理解できているか。 ・書き言葉と話し言葉、ことわざ、類義語等を理解できているか。 ・近代俳句、短歌、文学の冒頭文を理解できているか。 ・手紙の形式等を理解できているか。 (2学期中間考査)		
		12	<ul style="list-style-type: none"> A 漢字を読む力 B 漢字を書く力 C ことばの力 D 文章表現・韻文・文学史・文法の力 		<ul style="list-style-type: none"> ・高校卒業程度の漢字を理解できているか。 ・擬態語、月の異名、敬語表現等を理解できているか。 ・近代俳句、短歌、古典文学の冒頭文を理解できているか。 (2学期期末考査)		
三学期		3学期は授業を行いません。					
履修上の注意		<p>学習到達目標達成のために、各自が積極的かつ意欲的に授業に参加する必要があります。また授業の進行方法は解説及び板書が中心です、必ずノート及び筆記用具を用意し書き留めて下さい。なお授業だけではなく読書が国語の力を向上させるには不可欠です。可能な限り多くの本を読み、自ら文章に触れるようにすること。</p>					
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	問題解決の能力	技能・表現	知識・理解			
評価の観点の趣旨	言語を用いた表現に関心を持った姿勢で、演習に取り組んでいる。また様々な問題から意欲的に自己を追求する。	毎回の演習に向け、事前に準備が十分になされ、発表等で成果が認められる。またそれらが身に付いている。	「話す」「聞く」「書く」という言語能力に長け自分自身を表現できている。また他の理解を深められている。	高校三年生相当の国語知識、常識が身につけており、それらを社会で活かす準備ができている。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への出席状況 ・授業での演習の取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表への準備状況 ・課題の提出状況 	<ul style="list-style-type: none"> ・発表時の態度と姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 			

教科	学校設定科目	科目	近未来を学ぶ	単位数	2	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	自主教材			担当者	森田 大介		
概要・ねらい	科学・技術が発達し、我々の生きる社会が大きく変化している。そして、AIの普及や宇宙工学の発達などにより過去にはSFの世界であった事が現実化されつつある。そのような社会をこれからどのように生きていくのかを映像などを通して考察していく。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	20	近未来を学ぶ① AIの発達を考える 近未来を学ぶ② 火星移住計画を考える	●AIの普及及びその影響について考え、表現する事が出来ているか。 ●火星移住計画の概要とその考え方、地球人としての私たちという観点を持って、表現する事が出来ているか。 《1学期期末考査》			
	二学期	26	近未来を学ぶ③ STAR WARSの世界を考える	●1学期で学んだ事を踏まえて、将来的に生まれる可能性がある共存をテーマとしてSTARWARSの世界を理解し、表現する事が出来るか。 《2学期期末考査》			
	三学期		3学期は授業を行いません。				
履修上の注意							
●授業は板書したりプリント等を利用するので、必ずノートを用意してください。 ●レポートや課題の提出に関しては評価にも影響しますので、必ず提出するよう ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点	これからの世界に対する、大きな枠組みと流れに対する関心と課題意識を高め、意欲的に追及するとともに、国際社会に主体的に生きる国家・社会の一員としての責任を果たそうとする。	各項目から課題を見出し、文化の多様性と現代世界の特質を多面的・多角的に考察するとともに、国際社会の変化を踏まえ公正に判断する。	AIや火星移住計画等についての諸資料を収集し、有用な情報を選択して活用することを通して現代の事象を追求する方法を身に付けるとともに、追求し考察した過程や結果を適切に表現する。	AIや火星移住計画等についての基本的な事柄を、その普及及び課題と関連付けながら理解し、その知識を身につけている。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢 ●課題等の提出	●定期テスト ●授業への取り組む姿勢	●定期テスト ●課題等の提出			

教科	学校設定科目	科目	映像で見る社会問題	単位数	2	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	山川出版 『詳説 世界史B』			担当者	廣段 和也		
概要・ねらい	現代の社会と人間にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて協力的な態度を身につけ、社会に見られる諸問題の解決に関わろうとしている。また、映像資料を通して、社会に見られる諸問題について理解を深め、公正な判断をしようとしている。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	10	第15章冷戦と第三世界の独立 3第三世界の台頭と米・ソの歩み寄り アフリカ諸国の独立と苦悩 『インビクタス-負けざる者たち-』	<ul style="list-style-type: none"> ●1960年代のアフリカ諸国の独立の背景やその過程に関心をもち、アパルトヘイトという人種隔離政策に対し理解を深めることができる。 ●独立したアフリカ諸国の政策について比較し、それぞれの特徴や現在までの歴史を考察することができる。 			
		10	第9章近世ヨーロッパの展開 2ヨーロッパ諸国の海外進出 アメリカにおける植民地争奪 奴隷貿易と近代分業システムの形成 第11章欧米における近代国民国家の発展 3南北アメリカの発展 南北戦争とその結果 『ヘルプ 心がつなぐストーリー』	<ul style="list-style-type: none"> ●17世紀の黒人奴隷貿易やアメリカにおける南北戦争とその結果に関心をもち、現代に関わる課題として認識し、理解を深めることができる。 ●アメリカにおける黒人差別の歴史や現状について理解し、多文化社会の中で共生していくために必要な事柄を考えようとしている。 <p style="text-align: right;">≪1学期期末考査≫</p>			
	二学期	13	第16章現在の世界 4現代文明の様相 現代思想・文化の特徴 『ムーンライト』	<ul style="list-style-type: none"> ●さまざまな集団間の共存を求める多文化主義について積極的に考え、公正について理解を深めようとしている。 ●現代における差別が、一面的なものではなく、様々なことがらが複雑に絡み合っていることを理解し、その解決に積極的に考えを巡らせ、公正に判断しようとしている。 			
13		第14章二つの世界大戦 4世界恐慌とファシズム諸国の侵略 5第二次世界大戦 『シンドラーのリスト』	<ul style="list-style-type: none"> ●第二次世界大戦期のドイツが、多数のユダヤ人やスラヴ系の人々をアウシュヴィッツなどの強制収容所に連行した歴史や考え方を知り、公正という観点から、積極的に考えようとしている。 <p style="text-align: right;">≪2学期期末考査≫</p>				
三学期			3学期は授業を行いません。				
履修上の注意							
評価の観点		●配布されたプリントを保管すること			※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する		
●課題、宿題などにしっかり取り組むこと		●欠席、遅刻をしないこと					
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能	知識・理解			
評価の観点の趣旨	現代の社会と人間にかかわる事柄に関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて協力的な態度を身につけ、社会に見られる諸問題の解決に関わろうとしている。	現代の社会と人間にかかわる事柄から課題を見出し、社会的事象の本質や人間の存在及び価値などについて広い視野に立って多面的・多角的に考察し、国際社会の変化や様々な考え方に触れながら適切に表現している。	現代の社会と人間にかかわる事柄に関する資料を収集し、有用な情報を適切に活用している。	現代の社会と人間にかかわる基本的な事柄を理解し、社会に見られる諸問題について知識を身につけている。			
評価方法	●授業への出席状況 ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢 ●課題等の提出状況	●定期テスト ●授業への取り組み姿勢	●定期テスト ●小テスト ●課題等の提出状況			

教科	学校設定科目	科目	漫画で学ぶ歴史公民	単位数	2	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	『詳説 世界史B』/『詳説 日本史B』山川出版社 『新詳 地理B』 帝国書院 『最新 現代社会新訂版』 実教出版			担当者	岡田 新平		
概要・ねらい	本校で学習した地歴公民科の内容について、一般知識として習得すべき事柄を改めて学び直す。そして、日本の特徴ともいえる「漫画」の文化や作品に触れ、教科の理解や知識を深めていく。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	20	1) 現代漫画について ・流行している漫画とは ・日本漫画の影響力 2) 漫画の誕生から発展まで ・「鳥獣戯画」の誕生 ・江戸時代における印刷本の発展に伴う漫画作品 ・手塚治虫氏による漫画革命 3) 歴史的分野の学習 ・多方面から学ぶ織田信長の存在 ・始皇帝誕生までの過程 ・ローマ世界における文化の特徴 など	● 漫画の歴史について学び、世界にどのような影響力を与えたかを説明できるか。 ● 現在の漫画事情について把握し、漫画の利点を活かして学習の内容を理解できるか。 ● 各回のレポートをまとめ上げ、課題等の提出を守れるか。 《1学期期末考査》			
	二学期	26	4) レポート ・夏休みの宿題によるプレゼンテーション 5) 公的分野の学習 ・死刑制度の是非 ・障害者に対する相互理解 ・日本の抱える生活保護の不正受給問題 など ※引き続き、3) 歴史的分野についても学習する	● 興味のある学習漫画について調べ、他者に理解しやすいように説明することができるか。 ● 現在の漫画事情について把握し、漫画の利点を活かして学習の内容を理解できるか。 ● 各回のレポートをまとめ上げ、課題等の提出を守れるか。 《2学期期末考査》			
	三学期		3学期は授業を行いません。				
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> ● 板書をしっかり写すこと ● 配布されたプリントを保管すること ● 課題、宿題などにしっかり取り組むこと ● 欠席、遅刻をしないこと ※評価は定期試験と上記事項などを含め判断する							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	資料活用の技能・表現力	知識・理解			
評価の観点の趣旨	授業での説明や映像などを通じて、積極的に学ぶ姿勢が見られたか。	様々な観点から歴史的分野と公民分野を取り上げ、多角的で柔軟な見方を養えたか。	客観的かつ公正な資料(漫画)に基づいて、事実の正確に理解し、多面的・多角的に考察し公正に判断する能力を育成できたか。	漫画を活用し、上記の内容について十分に理解できたか。			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 授業への出席状況 ● 授業への取り組む姿勢 ● 課題等の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期テスト ● 授業への取り組む姿勢 ● 課題等の提出 	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期テスト ● 授業への取り組む姿勢 	<ul style="list-style-type: none"> ● 定期テスト ● 課題等の提出 			

教科	数学	科目	数学B	単位数	2	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	『Study-Up 数学B』数研出版			担当者	川野 充		
概要・ねらい	数列やベクトルについて理解させ、その概念は現実に応用が出来るものであり、事象を数学的に考察し処理する能力を育むとともに、数学的な見方や考え方の良さを実感できるようにする。また、数学的帰納法などに代表される、数学Bで学ぶ知識が、「生きる力」として身に付くようにする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	3 3 4 4 3 3	第1章 数列	数列の概念および数列についての基本的な用語の意味を理解し、等差・等比数列の一般項や和を求めることが出来る。 数列の帰納的定義について理解し、簡単な漸化式を扱うことが出来る。また、帰納的な考え方の良さに気づき、等式や不等式の証明に利用することが出来る。	《第1学期中間考査》 《第1学期期末考査》		
			1節 数列				
			等差数列・等差数列の和				
等比数列・等比数列の和							
和の記号 Σ							
いろいろな数列							
2節 漸化式と数学的帰納法							
漸化式							
数学的帰納法							
二学期	3 4 3 4 3 4 3	第2章 ベクトル	平面上のベクトルの概念を理解し、ベクトルに関する基本的な用語・記号を理解している。また、ベクトルの加減法や内積を理解し、問題に応用が出来る。 位置ベクトルについて知り、図形の問題をベクトルを利用して解くことが出来る。また、平面上の直線や円などの図形が、ベクトルを用いて表現されることを知ることで、身近な事象に置き換えて考えることが出来る。	《第2学期中間考査》 《第2学期期末考査》			
		1節 平面上のベクトル					
		ベクトルの意味					
		ベクトルの加法・減法・実数倍					
		ベクトルの成分					
		ベクトルの内積					
2節 ベクトルの応用							
位置ベクトル							
図形のベクトル方程式							
ベクトルの図形への応用							
三学期	3学期は授業を行いません。						

履修上の注意

授業では毎回教科書・ノートを準備し、板書は必ずとること。

評価の観点の趣旨と評価方法

各観点	関心・意欲・態度	数学的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解
評価の観点	数学的な活動を通して数列・ベクトルの考え方や思考に興味・関心を持ち、様々な事象をその考え方で考察しようとする事が出来るか。	事象を数学的にとらえることができ、数学的な見方や考え方を思考の過程を振り返ることが出来るか。また、活動を通して多面的・発展的に考えることが出来るか。	いろいろな問題に触れる中で、身近な事象を用いて数学的な考え方を基に、その事象を表現する方法を身につけることが出来るか。	いろいろな問題を解決する活動の中で、身近な例を数列・ベクトルで表すことの良さを理解し、応用も含めた知識を身につけることが出来るか。
評価方法	授業への出席状況 授業への取り組む姿勢 ノートチェック	授業への取り組む姿勢 ノートチェック 定期考査	授業中の解答 課題提出 定期考査	授業中の解答 課題提出 定期考査

教科	学校設定科目	科目	古生物学	単位数	2	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	自主教材			担当者	大迫 崇史		
概要・ねらい	生物進化の歴史を理解する 古生物学の研究手法について理解を深める 化石の産状と成因について理解する						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価規準			
	一学期	20	第1回 ガイダンス 科学の方法と階層性 第2回 古生物学と化石 第3回 古生物学の研究法 生物学的アプローチ① 第4回 古生物学の研究法 生物学的アプローチ② 第5回 古生物学の研究法 地質学的アプローチ① 第6回 古生物学の研究法 地質学的アプローチ② 第7回 化石の産状と成因① 第8回 化石の産状と成因② 第9回 ミクロの化石① 第10回 ミクロの化石②	古生物学の研究法を理解できているか。 化石の産状と成因について理解できているか。 授業ごとの課題に取り組み提出できているか。			
	二学期	26	第11回 先カンブリア時代① 第12回 先カンブリア時代② 第13回 古生代① 無脊椎動物の進化 第14回 古生代② 脊椎動物の誕生・進化 第15回 中生代① 恐竜の出現 第16回 中生代② 爬虫類の発展 第17回 中生代③ カメ類の進化 第18回 中生代④ 恐竜の絶滅 第19回 新生代① 鳥類の発展 第20回 新生代② 哺乳類の進化・発展 第21回 新生代③ 日本列島の誕生と環境の変化 第22回 新生代④ 人類への進化 第23回 学年末レポート作成	生物進化の歴史を理解できているか。 地球の歴史の時間スケールを理解できているか。 授業ごとの課題に取り組み提出できているか。			
三学期		3学期は授業を行いません。					
履修上の注意							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	思考・判断	表現・処理	知識・理解			
評価の観点	・生物進化の歴史に関心を持ち、意欲的に探究し、総合的にとらえるとともに科学的態度を身につけているか。	・それぞれの分野において、事実や仕組みなどを考え、その特徴や法則、働き、利用などを導き出せるか。	・自らの考えをもとにして適切に表現できるか。	・基本的な概念や原理、法則を理解し、知識、技能を身につけているか。			
評価方法	・授業への出席状況 ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出状況	・定期レポート ・授業に取り組む姿勢 ・課題等の提出	・定期レポート ・課題、レポートの提出	・定期レポート			

教科	学校設定科目	科目	音楽選択C	単位数	1	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	自主教材・音楽の友社等の譜面をプリント化・オリジナルのアレンジ・バイエルピアノ教本			担当者	佃 馨		
概要・ねらい	譜面を見ながら演奏したり歌唱したりする力を身につけ、色々な楽器に触れ、表現と鑑賞・製作(創作)等の活動を通じ、より深く音楽を愛好する心を養う。 保育技術検定において、より高い級の取得を目標とする。						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容		評価基準		
	一学期	4	ピアノ演習 バイエルNO30番～NO47番の練習 ・独自のピアノエチュードを使用 ・ポータートーンを使用した個人練習を実施		譜面を正確に読む事が出来るか。 しっかりと練習に取り組む事が出来たか。		
			4 幼児教育に必要な歌唱の練習 ・リズム打ちを含めた歌唱の練習		正確にリズムを打つ事が出来るか。 音程や表情に注意しながら歌う事が出来るか。		
	二学期	2	絵本より表現を学ぶ 絵本に音をつけてみる。 ・鍵盤楽器の演奏		絵本の内容にそった音をつけることができたか 音色等を工夫することができたか。		
4 幼児教育に必要な歌唱の練習 ・リズム打ちを含めた歌唱の練習 絵本より表現を学ぶ 5 器楽演習 ・リコーダーとハンドベルの演奏 ・鍵盤楽器の演奏			譜面を正確に読む事が出来るか。 しっかりと練習に取り組む事が出来たか。 ※ 個人指導を行なう 正確にリズムを打つ事が出来るか。 音程や表情に注意しながら歌う事が出来るか。 音楽の創作や工夫が出来るか。 譜面を読みながら、正確に演奏する事が出来るか。 ※ 級別実技試験に則った検定を行なう。				
三学期		3学期は授業を行いません。					
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> ● 授業は教科書とプリントを使用して行う。自己の取り組みを自身で評価し、次の実技項目に生かす。 ● 器楽の授業においては、積極的な取り組みが必要である。創作に於いては、自主性が必要である。 							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫		創造的な表現の技能		表現の能力	
評価の観点の趣旨	色々な楽器の演奏方法を通じ、音楽をより楽しむ力を高め、メロディーを自ら作り、音として表現する事の喜びを知る。積極的な表現をすることができたか	譜面を読み取り、自ら音として表現する姿勢を養う。 楽器や歌唱を通じ、音楽に対しより深い興味を抱くように、事前の調べを工夫し努力する。		発声・音色・音程に留意し、楽曲を正確に表現すると共に、強弱やテンポなどの個人的な表現を工夫し発表する。		多様な音楽を理解し、そのよさや美しさを他の人物に伝える努力をする。	
評価方法	授業の出欠状況 取り組む姿勢 提出物等 発表					取り組む姿勢 学習プリントの提出	

教科	学校設定科目	科目	総合美術	単位数	1	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	自主教材			担当者	岡田 敬子		
概要・ねらい	様々な素材を用い幼児にとってふさわしい教材の勉強をし、幼児教育に役立てる。 幼児の発達状況に伴い、美術を通して豊かな感性を養う事を目的とする						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	3	モダンテクニック スパッタリング、デカルコマニー、コラージュ等	絵画における様々な技法を学ぶ。			
		4	手のデッサン	鉛筆による手のデッサンを考える。 形は正確にとれているか、陰影をつけられているか。			
		4	木彫(バードカービング) こまどり	鳥の形、模様や色合いを正確に表現する。 木を彫り進め、絵の具により色合いや模様を塗り進めていく。 様々な方向からのデッサンをまとめる。			
二学期	5	ステンシル技法でエコバッグを制作する	ステンシル技法を理解し、オリジナルエコバックを制作する。				
	8	木版画(ハガキ)	来年度の年賀状のアイデアスケッチを文字・イラストによりまとめる。 装飾やデザインにテーマをもって描かせる。				
三学期			3学期は授業を行いません。				
履修上の注意							
<ul style="list-style-type: none"> ・後片付け、掃除をきちんと行う。 ・課題に応じて必要な持ち物など、忘れ物がないよう徹底する。 ・実技作品の提出期限を厳守する。 							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	芸術的な感受や表現の工夫	創造的な表現の技能	鑑賞理解			
評価の観点の趣旨	いかに幼児のための美術を考えるか。	豊かに表現し大きな視点で物を捉える力がある。	創造的な表現をする為の様々な工夫をしている。 用具の使い方の理解度	優れた作品への理解と知識を養う。			
評価方法	積極的な姿勢を持つ事 作品点数を重視する	実技作品の完成度 授業への積極的参加	1、実技作品の完成度 2、授業への取り組む姿勢	1、実技作品の完成度 2、授業への取り組む態度			

教科	芸術	科目	書道選択C	単位数	2	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	自主教材			担当者	北田 朋子		
概要・ねらい	<p>これまで学習したことを更に発展させ、創造的で個性的な造形の豊かさと線質の豊かさを高め、書の文化や伝統を愛好する心を育てる。 書の多岐多様な展開を楽しむ。</p>						
年間授業計画	学期	配当時間	学習内容	評価基準			
	一学期	6 4 2 10	臨書(半切作品制作) 漢字仮名交じりの表現 一字創作 自由制作(全紙作品制作)	<p>古典の筆法をまねて、半切作品を制作することができたか。 漢字と仮名を調和させ、表現できたか。 決められた紙面に漢字を工夫して配置できたか。 今まで学んだことを活かし、オリジナルな作品を制作することができたか。 よき位置に名前を書き、印を押すことができたか。 お互いの作品を鑑賞することができたか。</p>			
	二学期	20	さまざまな書表現 うちわ等への文字入れ マーブリング 白抜き文字 アクリル絵の具による表現	<p>様々な技法での手順を理解し、オリジナルな作品を制作できたか。</p>			
	三学期		3学期は授業を行いません				
履修上の注意							
<p>共有物は大切に使用し、次の時間の生徒に不愉快さを与えないことを学ばせる。 学習内容により危険物を使用することもあるので、沈着な授業展開が必要となる。 毎時間作品の提出を求める。</p>							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	芸術的な感受	創造的な表現と技術	鑑賞と理解の能力			
評価の観点の趣旨	主体的に書と関わる姿勢が必要。自ら感性を高め美との関りに喜びを求める。	感受性豊かに、作品に反映させた作品を作る。	教材を理解し独自の表現を試みる。	歴史の展開を知り、その時代背景と共に鑑賞する。素直に表現する。			
評価方法	授業に取り組む姿勢。作品の成績と提出状況	作品の完成度。文言の選択。	作品の完成度。独自性。用具用材への取り組み方	作品の完成度。作品にいかにかかせたか。			

教科	学校設定科目	科目	英検講座	単位数	2	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	Step by Step 4 Skills 2,3 (三省堂)			担当者	内田 浩一		
概要・ねらい	<p>実用英語技能検定受験対策をし、各自で設定した目標級の合格を実現させる授業を行う。</p> <p>授業内では4技能をバランスよく学習するが、まずは語彙力から伸ばしていきたい。</p> <p>第2回検定で目標級合格を目指す、第3回検定も積極的に受験し、1ランク上を目指させたい。</p>						
年間授業計画	学期	配当時間	単元	学習内容			
	一学期	2 2 2 2 2 2 2 3 3 (20)	1 英検の概要把握、学習計画 2 リスニング・リーディング・ライティング対策1 3 リスニング・リーディング・ライティング対策2 4 リスニング・リーディング・ライティング対策3 5 リスニング・リーディング・ライティング対策4 6 リスニング・リーディング・ライティング対策5 7 リスニング・リーディング・ライティング対策6 8 模擬試験 直前対策 9 2次試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・英検各級について理解を深め、目標、学習計画を立てる。 ・常に4技能を意識して、学習を進める。 ・毎回の授業で各目標級に応じた単語テストを実施する。 ・リスニングは問題対策だけでなく、英語耳を鍛える。 ・ライティングは論理的思考をしながら、英文を構成させる。 ・リーディングは正しく英文が読めるように、必要に応じて文法・語法の確認を行う。 ・受験直前には模擬試験を実施し、各自の到達度の確認を行う。 ・面接のパターンを理解し、スムーズな応答ができるようにする。 			
	二学期	3 2 3 (26)	10 学習計画 11 リスニング・リーディング・ライティング対策7 12 リスニング・リーディング・ライティング対策8 13 リスニング・リーディング・ライティング対策9 14 リスニング・リーディング・ライティング対策10 15 リスニング・リーディング・ライティング対策11 16 リスニング・リーディング・ライティング対策12 17 リスニング・リーディング・ライティング対策13 18 リスニング・リーディング・ライティング対策14 19 リスニング・リーディング・ライティング対策15 20 リスニング・リーディング・ライティング対策16 21 模擬試験 2次試験対策	<ul style="list-style-type: none"> ・第1回受験結果を振り返り、目標・計画を立て直す。 ・常に4技能を意識して、学習を進める。 ・毎回の授業で各目標級に応じた単語テストを実施する。 ・リスニングは問題対策だけでなく、英語耳を鍛える。 ・ライティングは論理的思考をしながら、英文を構成させる。 ・リーディングは正しく英文が読めるように、必要に応じて文法・語法の確認を行う。 ・受験直前には模擬試験を実施し、各自の到達度の確認を行う。 ・面接のパターンを理解し、スムーズな応答ができるようにする。 			
三学期			3学期は授業を行いません				
履修上の注意							
<p>1 真面目に授業に参加すること。</p> <p>2 辞書、ノート、筆記用具を必ず持参すること。プリントをそのつど配布するので無くさないようにファイルしておくこと。</p> <p>3 ワークシートを配布するので無くさないようファイルしておくこと。</p>							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	英語的な見方や考え方	表現・処理	知識・理解			
評価の観点の趣旨	出席、取り組み姿勢 積極的な取り組み、姿勢	日常生活から英語での表現を意識できているか。	自らの表現したい事を適切に英語で表現できるか。	英語表現を含む、英語文化の理解ができているか。			
評価方法	出席、発言 授業への取り組む姿勢	授業への取り組む姿勢 スピーキングテスト	スピーキングテスト ライティング課題	ライティング課題 授業内発表			

教科	学校設定科目	科目	食物	単位数	2	学年・コース	3年 総合/選択者
教科書	自主教材			担当者	江波戸 純子		
概要・ねらい	2年次に学んだ食物の知識・技術を基本にし、食物検定受験をすることで、さらに詳しく調理についての知識・技術を習得する。また、よく目にする加工食品や日本の伝統料理について、調査・研究した上で、実際に調理をする。食品についての知識を習得するために、テーマを決めた調理実習をする。						
年間授業計画	一学期	2	オリエンテーション	今後の流れを把握し、理解できたか。			
		2	専門学校講師によるデザート実習	今後の進路決定において、専門家から、学ぶことが出来たか。			
		2	手量り・目測・いろいろな切り方実習	調理の基礎実習として、物の重さと分量の目安を理解できたか。また、材料の切り方の技術と知識を理解できたか。			
		1	食物検定4級実技内容練習	食物検定4級の内容を含め、調理の基礎が理解できたか。			
		1	食物検定4級内容VTR	VTR「調理の基礎知識」			
		2	「味噌」調理実習	日本の伝統的加工食品の作り方を理解できたか。			
		2	「だんご」調理実習	「米」を原材料にした加工食品について理解できたか。			
		2	テーマ「米」の調理実習	また、普段食べているものの作り方が理解できたか。 米を中心として献立を考え、実習することができたか。 《レポート「米」》			
		2	食物検定4級受験	調理・栄養の基礎を理解できているか。			
		2	食物検定3級内容調理実習	食品の特性を理解し、調理の手順を考え、おいしく、見栄えよい調理ができたか。			
	二学期	2	食物検定3級受験	1つの料理を作る材料・手順を理解できたか。			
		2	献立の立て方	いろいろな調理法、栄養のバランスを理解しながら献立を立てる手順が理解できたか。			
		2	「きつねうどん」調理実習	「小麦粉」の調理性、油揚げ、だしの取り方を理解できたか。			
		2	「パン・ジャム」調理実習	「小麦粉」と「砂糖」について理解できたか。			
		2	「マカロニグラタン」調理実習	「小麦粉」の調理性のドウとルーを理解できたか。			
		2	テーマ「小麦粉」の調理実習	「小麦粉」の特性を生かした調理ができたか。			
		2	「ハンバーグ」調理実習	「肉」の特性について理解できたか。			
		2	テーマ「肉」の調理実習	「肉」の特性を生かした調理ができたか。 《レポート「小麦粉」「肉」》			
		2	テーマ別献立作成・調理計画	バランスの良い献立か。調理手順に無駄は無いのか。			
		2	文化祭準備				
三学期	2	「お弁当」調理実習	「お弁当」に適切な献立・調理法をし、彩りよくお弁当箱につめることができたか。 《レポート「お弁当」》				
	2	「日本の行事食」調理実習計画	伝統的な行事食を理解し、自分の生活に取り入れる工夫ができたか。				
	2	「おせち料理」調理実習	「おせち料理」の調理手順を理解できたか。				
	2	「X'masパーティー」調理実習	「パーティー料理」の献立・調理手順を理解できたか。				
3学期は授業を行いません。							
履修上の注意							
実習重視の授業です。それぞれの学期ごとに提出するレポート・作品などがあるので、期日を守りきちんと提出をして下さい。またそれぞれの内容を理解した上で実践していきますので、積極的な姿勢で授業に臨んでください。							
評価の観点の趣旨と評価方法							
各観点	関心・意欲・態度	技能・表現	知識・理解	思考・判断			
評価の観点の趣旨	食に対して関心を持ち、食材や調理に対する知識・技術を習得する姿勢と実習に対する積極的態度が見られる。	食材・調理法の知識・技術を習得し、味・栄養・見た目・調理法のバランスを考えた献立を立て、実際に調理をする能力が身についている。	食材・調理法の知識・技術が身についている。	基礎を学び、その場にあった献立を考え、様々な食材に対応した調理法を選ぶなど、食に対しての問題に適切な対応をすることが出来る。			
評価方法	授業の出席状況 授業に取り組む姿勢 レポートの提出	献立レポートの提出 実習に取り組む姿勢 料理の味・見た目のバランス	食物検定受験 レポートの提出	授業に取り組む姿勢 問題解決の方法			